



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)市ヶ尾町高齢者施設新築工事	階数	地上5F
建設地	横浜市青葉区市ヶ尾町20番5号の一部、20番19号の一部、834番4,834番7	構造	RC造
用途地域	準住居地域、準防火地域	平均居住人員	42人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年11月9日
敷地面積	865㎡	作成者	岩沢 博文
建築面積	473㎡	確認日	2021年11月9日
延床面積	2,082㎡	確認者	岩沢 博文



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 88% (162 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 88% (162 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 88% (162 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 住戸部は十分な開口を設けることで採光・換気を確保し居住者にとって快適な室内環境となるよう配慮した。建物全体としては、維持更新性に配慮するとともに、省エネ性能向上に努め温暖化など地球環境に配慮した設計とした。		その他 特になし。
Q1 室内環境 室内は明るい空間となるよう十分な開口を有し、カーテンや庇で日射が制御できるよう配慮した。空気質環境の向上のため、居室は十分な換気容量を持たせ、窓等の自然換気も確保した。	Q2 サービス性能 1床あたりの面積を10m ² 以上と十分な広さを確保した。外装材や内装材、配管は耐用年数の長いものを使用し、建物の耐久性に配慮した計画としている。	Q3 室外環境 (敷地内) 外部には緑地や庇を設け、舗装面積をできるだけ少なくし、敷地内の温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー 複層ガラスを採用するなど十分な外皮性能を確保し、高効率の設備を採用することで建物の省エネルギー性能向上に努めた。	LR2 資源・マテリアル 節水器具を採用し、水資源の保護に配慮した。また、汚染物質の使用回避のため使用材料や冷媒への配慮を行った。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率は参照値に対して88%とし、敷地内には緑化を行い地球温暖化へ配慮した計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



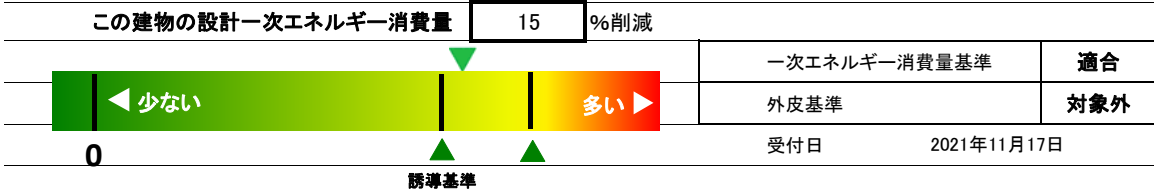
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)市ヶ尾町高齢者施設新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①複層ガラス等を使用し、外皮性能向上を図った。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪十分な換気容量を確保し、かつ自然換気も確保した。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯耐用年数の長い材料を使用した。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	



CASBEE横浜2017年版v.1.7
(仮称)市ヶ尾町高齢者施設新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-			2.4
Q1 室内環境					0.40					2.8
1 音環境				2.2	0.15	2.3	1.00			2.3
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音				2.2	0.40	2.4	0.40			-
1 開口部遮音性能				1.0	0.40	1.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20			-
2 温熱環境				2.6	0.35	2.6	1.00			2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43			-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30			-
3 光・視環境				2.5	0.25	4.1	1.00			3.4
3.1 昼光利用				2.4	0.30	4.2	0.30			-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	0.60	5.0	0.60			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.30			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	5.0	0.25			-
4 空気環境				3.1	0.25	3.1	1.00			3.1
4.1 発生源対策				3.0	0.50	3.0	0.63			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
4.2 換気				2.0	0.30	3.3	0.38			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	5.0	0.33			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	4.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気環境	1.0	0.50	1.0	0.33			-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-			-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気環境	5.0	1.00	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.9
1 機能性				2.4	0.40	3.8	1.00			3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	5.0	1.00			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7

(仮称)市ヶ尾町高齢者施設新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		3 対応性・更新性				2.6	0.30	2.0	1.00	2.2
3.1 空間のゆとり				1.8	0.30	1.0	0.50	-		
1 階高のゆとり				1.0	0.60	1.0	0.60	-		
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	1.0	0.40	-		
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	-		
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-		
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.3		
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-	1.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.0		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2		
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	2.7	0.50	-	-	2.7		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.8		
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0		
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	-	-	2.8		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9		
1 地球温暖化への配慮				3.4	0.33	-	-	3.4		
2 地域環境への配慮				2.3	0.33	-	-	2.3		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.2	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-		
2 振動				3.0	0.33	-	-	-		
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-		
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				4.0	0.70	-	-	-		
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 3-093



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)市ヶ尾町高齢者施設新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
上記以外の重点項目								
<事務所用途>								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	
<住宅用途>								
健康と安心								
1 化学汚染物質の対策		健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画		健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策		健康・安心 ⑥健康対策	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心 ⑦防犯対策	-	-	-	-	-	